



ボーリング柱状図






調査名 一級河川太田川水系大毛寺川支川4通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo.	5	1	3	2	6	3	3	8	0	0	3
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Boring No.3	調査位置	No. 2+0.00 L-15.30	北緯	34° 31' 35.2759"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成29年11月27日～平成29年11月28日	東経	132° 29' 05.3877"
調査業者名		主任技師		現代理人	
孔口標高	GH 130.44m	角		方	
総掘進長	5.00m	度	0°	向	180°
地盤勾配	33°	鉛直	33°	水平	0°
使用機種	試錐機	東邦地下工機(株)製D-0型	ハンマー	落下用具	半自動型
エンジン	(株)ヤンマー製NFD-12型	ポンプ	東邦地下工機 BG-3型		

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記	コア採取率 —x— (%)	最大コア長 —●— cm	RQD —— [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験	原位置試験	室内試験	掘進状況	掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチップ／ビット	給圧	回転数	送水圧	送水量 1／分	排水量 1／分
m	m	m																											
1	129.44	1.00		硬連じり粘土質砂							ルーズな未固結層。局部的にφ0cm程度の角礫含有する。表層部草本根含有する。	0				11/27 無し	1.19 46						66	打込み 打込み シユ	0	0	0	無水	0
2	128.64	1.80		硬連じり砂礫							GL-1.0～1.45m間、φ5～10cm程度の亜角礫が密集する。	0					1.45 30												
3				花崗岩	E		d	ε			中生代白亜紀の花崗岩。風化の進行が著しく、岩芯にまで及んでいる。GL-2.5m付近、亀裂に沿った変質認められる。	0				DM	1.90 37												
4				花崗岩	IV		c	δ		4	深度と共に硬質となる傾向が認められる。	0				DH	2.20 30						50	66	0	100	1	清水	10
5	125.44	5.00		花崗岩	D												3.15 50												
6																	3.27 12												
																	4.10 50												
																	4.27 17												
																	5.05 50												
																	5.15 10												

株式会社荒谷建設コンサルタント